



## お知らせ

### (2) 核データ評価研究グループ

## JENDL 委員会会合から

以下に示すのは、JENDL 委員会（旧シグマ委員会）会合の議事録です。メーリングリスト JNDCmail でも議事録が配布されます。また、核データ評価研究グループの WWW から、JENDL 委員会の会合予定や議事録を見ることができます。

### 核データ専門部会 ENSDFグループ

2011年2月18日 13:30~15:30 原子力機構 システム計算科学センター小会議室 出席者 6名
--

#### 配付資料

各質量数のNuclear Data Sheets (NDS)の出版年

#### 議事：

##### (1) 作業状況の確認

配布資料(1)により、作業状況の確認を行った。A=121 (大矢) とA=125 (片倉) のNDSが今年度に出版された。A=127 (橋爪) は、査読で指摘された部分を訂正しており、数ヶ月以内には、NNDCに訂正原稿を返送出来る。A=118 (喜多尾、神戸) は、評価作業を進めているが、まだ終了まで相当時間がかかる。また、A=120 (橋爪) の評価作業を始めている。

##### (2) 評価作業の経験交換

内部転換係数の計算結果をコメント行に記載す

るようにと査読者から指摘があったので、それについてグループ内で議論した。ENSDFに記載しておけば、NDSに載せるどうかはNNDCが判断出来るので、今後は記載することにした。それに関連して、最近の査読者の方針が昔と違い、コメント行に多くの情報を記載するように言うことが話題となった。ENSDFの記載方法はガイドラインに定められており、それに従うのが基本であることをグループ内で確認した。また、ENSDFでの表の書き方を検討した。

##### (3) 日本の質量数の分担

4月にIAEAで開かれる評価者ネットワーク会議のために、日本の現在の分担 (A=120~129) が適切か議論した。その結果、ネットワーク会議では、変更無しで良いと発表することにした。

##### (4) 核図表

核図表が 6 年ぶりに昨年改訂された。今回は堀口氏が改訂作業から外れた。次回の出版は来年に予定している。